

「働く・会社・経営」を
 教えてくれるシリーズ第3弾
 現役世代はもちろん
 就職活動中の方にもオススメ

この本を読むと「事実の小説より奇なり」という言葉がしみる。坂本光司氏（法政大学大学院政策創造研究科教授）が、「日本でいちばん大切にしたい」会社を紹介するシリーズの第3弾。一昨年は、同シリーズの第1弾がきっかけとなり「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞という表彰制度が始まった。およそ40年間全国の中小企業を約6千500社訪問した坂本氏が、自ら取材し紹介する7つの企業には、「人間尊重経営」が貫かれている。一丸となり苦難を乗り越え、ある者のために皆が気持ちをひとつにする…ページをめくるとあらわれる数々のエピソードに、感動

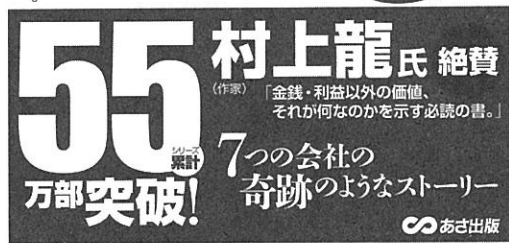
し、自然と「働く・会社・経営」の意味・意義に思いを馳せることに。社会人はもちろん、就職活動中の学生にもオススメです。

7つの企業を簡単に紹介すると、「徳武産業」（さぬき市）は高齢者からの無数の「ありがとう」をいただく奇跡の靴メーカー。「中央タクシー」（長野市）は、「幸せを乗せる」顧客最優先のタクシー会社。「日本レジャー」（新宿区）は、大手企業の取締役から子会社に向出した近藤社長が、子会社の社員とその家族の命と生活を守るための経営を貫いている。「ラグーナ出版」（鹿児島市）は、「精神障がい者に働くしあわせの場を」と、森越医師、川畑精神保健福祉士が病院を退職して設立した出版社。「大谷」（新潟市）は、社長自身が、難病を抱えながら、障がい者雇用などのために尽力している日本でいちばん大きな印章メーカー。「島根電工」（松江市）は、地域の人々から小口の受注をとる「おたすけ隊」で、公共事業やゼネコン頼りの体質から脱却した。「清月記」（仙台市）は、東日本大震災で自らも被災した葬儀社。被災地で、遺体の仮埋葬・掘り起こしなどを行い人間の尊厳を守りぬいている。

坂本氏が紹介したい企業は、あと600社以上あるという。シリーズ第4弾が待ち遠しい。

日本で
 いちばん
 大切にしたい
 会社

坂本光司 著
法政大学大学院政策創造研究科教授



日本でいちばん大切にしたい会社 3

坂本光司 著 あさ出版

定価：1400円+税